



KONISHI REPORT

.....

第97期 株主通信

第2四半期累計期間

2021年4月1日～2021年9月30日

.....

 **コニシ株式会社**

証券コード：4956

化学の可能性を追求し 絶えず新しい価値を 未来へとつなげていきます



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が再発出されるなど、個人消費の低迷や企業活動の収縮した状況が継続しましたが、9月以降は感染症の拡大は落ち着きつつあります。今後は、行動制限も緩和され経済活動の正常化が進むものと思われませんが、感染症流行前の水準までには一定の時間を要するものと見込まれております。

当社グループの主な関連業界では、住宅業界においては、新型コロナウイルス感染症の拡大後に落ち込んだ新設住宅着工戸数は回復に転じました。また自動車業界においては、回復基調が継続しましたが、8月以降は半導体不足や東南アジアでの新型コロナウイルスの感染拡大に伴う部品不足を受け、減産傾向となりました。土木建設工事業界においては、

都市部の再開発や建築物の補修・改修工事の需要および道路、鉄道などのインフラ整備並びに維持修繕の需要は堅調に推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高539億43百万円(前年同四半期比8.3%増)、営業利益34億26百万円(前年同四半期比30.9%増)、経常利益36億68百万円(前年同四半期比33.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益23億81百万円(前年同四半期比39.3%増)となりました。

当社の歩みは、1870年創業の薬種商から始まり、その後、洋酒や工業用薬品の販売へと事業を拡大し、1952年には合成接着剤「ボンド」を開発するなど、お客様の願い、社会の要望にお応えしながら「化学」を扱う企業へと変化して参りました。現在は、合成接

着剤「ボンド」などを製造・販売するメーカーとしての「ボンド事業」、創業からの問屋業の流れを受け継ぎ化学品を扱う専門商社としての「化成品事業」、そして関係工事会社を中心に展開する社会インフラおよび建築ストック市場の維持・補修・改修を目的とした「土木建設工事業」を主力の3事業として、「つなげる」ことを理念とし、さらなる事業展開を図っております。

また、当社は2025年に株式会社設立100周年を迎えます。第100期に向けて、今後どのような企業像を目指していくのかをしっかりと定め、今後も着実に事業を進めて参ります。

株主の皆様には今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 おおやま けいいち
大山 啓一

第2四半期累計期間 連結財務ハイライト (2021年4月1日～2021年9月30日)

個別財務ハイライトについてはP.8をご覧ください ▶▶▶

売上高

53,943
百万円

前年同四半期比
8.3%増 ↗



営業利益

3,426
百万円

前年同四半期比
30.9%増 ↗



経常利益

3,668
百万円

前年同四半期比
33.5%増 ↗



ポイント解説

当第2四半期連結累計期間の業績は、ボンドセグメントでは住宅関連分野の接着剤、化成品セグメントでは自動車分野の商材が前期の新型コロナウイルス感染症による影響の反動で好調に推移し、また、工事業セグメントでは前期の大型工事案件の反動で減収となったものの計画通りに推移したことで全体としては売上高、営業利益ともに大きく増加しました。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

2,381
百万円

前年同四半期比
39.3%増 ↗



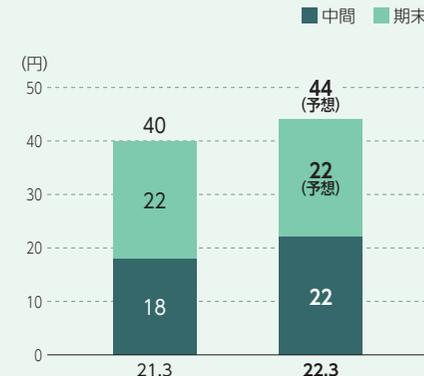
1株当たり四半期(当期)純利益

66.87 円



1株当たり中間(期末)配当金

22 円



※2022年3月期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

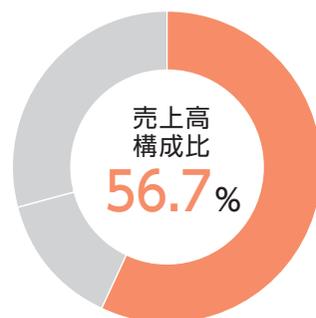
ボンド

事業内容

「ボンド」ブランドの接着剤、シーリング材、工業用テープ、離型剤、ワックスなどを製造するメーカーとしての活動を行っております。ボンドセグメントが関わる分野は、住まいの内外装工事に使用される住宅関連分野、工場の生産ラインで使用される産業資材関連分野、工作・DIYで使用される一般家庭用関連分野、ビル・マンション、橋・トンネルなどを維持・補修・改修する際に使用される土木建設関連分野など多岐にわたります。浦和と大阪に研究開発拠点を備え、新製品の開発・改良を行っております。生産拠点は栃木工場・滋賀工場の2拠点で、栃木と滋賀には自社で物流センターを構えております。



※「収益認識に関する会計基準」を適用。



売上高

30,608 百万円

前年同四半期比

+9.7%

営業利益

2,251 百万円

前年同四半期比

+24.5%

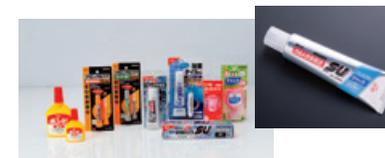
セグメント
構成

コニシ(株) ボンド営業本部 土木建設営業本部
水口化学産業(株) ボンドケミカル商事(株) ボンド販売(株) ボンド物流(株) ウォールボンド工業(株)
サンライズ(株) KB LINE(株) 科昵西貿易(上海)有限公司 科陽精細化工(蘇州)有限公司
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ) Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム)
PT. Konishi Lemindo Indonesia(インドネシア)

当第2四半期連結累計期間の概況

一般家庭用分野

コンビニエンスストア向け、ホームセンター向けともに前期の巣ごもり需要による反動などの影響を受け、売上が減少しました。



住宅関連・産業資材分野

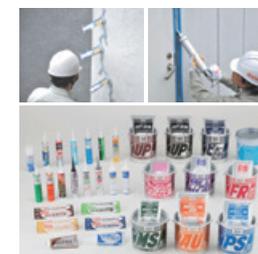
住宅関連においては、新設住宅着工戸数の回復に伴い、内装建材用接着剤の売上が増加しました。産業資材分野では、紙関連用途向けの水性接着剤や自動車・電子部品等に使用される弾性接着剤などが好調に推移しました。



土木建設分野

※2022年3月期より、前期まで「土木建設セグメント」に含めておりました土木建設分野に使用される接着剤・シーリング材の事業を「ボンドセグメント」に移管いたしました。

土木分野においては、表面保護・はく落防止工法が工期遅延の影響もあり低調に推移したものの、建築補修用に使用する材料、建築用シーリング材においては、前期の新型コロナウイルス感染症の影響による工事中断の反動を受け、売上が増加しました。



関係会社

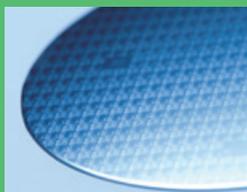
サンライズ(株)は、住宅用シーリング材や自動車用接着剤が市場の回復により好調に推移し、ウォールボンド工業(株)は、市場の回復と新製品の販売により売上が増加しました。



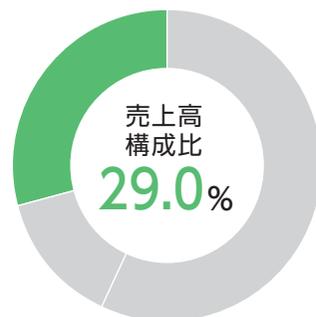
化成品

事業内容

企業間を結ぶ化学品専門商社として、メーカーから原料などを仕入れて、ユーザーに販売する活動を行っております。化学品、塗料、電子電機、自動車などの分野を中心に、中国・台湾・タイ・インドネシアの海外拠点とも連携を図りお客様のニーズにお応えしております。また、2017年に新設しました材料科学研究所と連携し、自社技術を活かしたコニシならではの提案型商社の構築を目指して参ります。



※「収益認識に関する会計基準」を適用。



売上高

15,665 百万円

前年同四半期比

+23.0%

営業利益

489 百万円

前年同四半期比

+138.6%

当第2四半期連結累計期間の概況

自動車分野、電子電機分野

自動車分野では前期に新型コロナウイルスの影響を大きく受けた著しい反動で車載電子部品に使用される商材の売上が大きく増加しました。また、電子電機分野における放熱封止材用の商材も堅調に推移し売上が増加しました。



化学工業分野

化学工業分野では、前期にエタノール関連商材が新型コロナウイルスの影響で売上が増加した反動で低調に推移しましたが、樹脂原料の販売は好調に推移し売上が増加しました。



関係会社

丸安産業(株)は、半導体製造に使用される商材やコンデンサ用商材が好調に推移し、売上が大きく増加しました。



セグメント 構成

コニシ(株) 化成品事業本部 丸安産業(株)
科昵西貿易(上海)有限公司 PT.KONISHI INDONESIA(インドネシア)
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ) 台湾丸安股份有限公司

セグメント別の状況

工事業

事業内容

現在では過去に建てられた建築物ストックや社会資本ストックを、補修・改修してより長く利用できるように維持管理していく時代になっております。社会インフラ、建築物ストック市場の維持・補修・改修などを目的として関係会社を中心に工事請負事業を主たる事業として行っております。



※「収益認識に関する会計基準」を適用。



売上高

7,572 百万円

前年同四半期比

△16.2%

営業利益

635 百万円

前年同四半期比

+26.5%

当第2四半期連結累計期間の概況

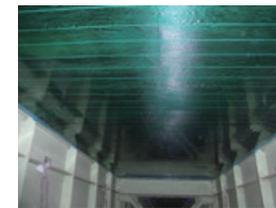
※2022年3月期より、「土木建設セグメント」を、工事を請負う関係工会社5社で構成する「工事業セグメント」に事業セグメントを再編いたしました。これは、社会インフラ、建築ストック市場の補修・改修・補強などの工事請負事業を、より一層強化するために経営体制の変更を行ったことによるものです。

土木建設工事分野

前期に大型工事案件があったため売上は減少しましたが、計画通りに推移しました。また、インフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事の受注は、好調に推移しました。



コンクリート表面保護



連続繊維シート補強



鋼板補強

セグメント 構成

ボンドエンジニアリング(株) 近畿鉄筋コンクリート(株) 角丸建設(株)
コニシ工営(株) 山昇建設(株) (株)和泉

その他

不動産賃貸業となり、売上高は97百万円(前年同四半期比22.4%減)、営業利益は40百万円(前年同四半期比57.3%減)となりました。

セグメント 構成

コニシ(株) 不動産部門

滋賀工場の排水処理施設を更新いたしました。

滋賀工場では、排水処理施設の更新工事が完了し、2021年4月より稼働を開始しました。以前の排水処理施設は、滋賀工場が開設された1973年に設置され、約48年間と長期にわたり稼働し続けてきましたが、経年劣化の懸念、近年の生産量増加による排水能力の不足などから、「処理能力向上」と「環境負荷低減」を目的に、更新工事を実施しました。

新しい排水処理施設の処理工程は大きく3段階に分かれており、①薬剤による加圧浮上処理、②膜濾過装置を利用した生物処理、③特殊濾材による高度処理となっております。3段階の処理を行うことで河川放流基準に適合する水質まで処理、改善を図ることができます。これにより、合成接着剤「ボンド」を生産する過程で発生する排水を自社で処理を行い、自然へ戻せることが可能になったことから、環境負荷への低減に寄与できる施設となりました。



監査等委員会設置会社へ移行いたしました。

第96回定時株主総会において、当社が監査等委員会設置会社に移行することが承認されました。

監査等委員である取締役に対して、取締役会における議決権を付与することで、取締役会の監督機能の強化や経営の透明性、客観性を向上させ、コーポレートガバナンス体制のより一層の充実を図って参ります。

なお、監査等委員である取締役は、社外取締役3名を含めた4名で構成しております。



新市場区分「プライム市場」を選択いたしました。

2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より、「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」を受領し、新市場区分「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認いたしました。

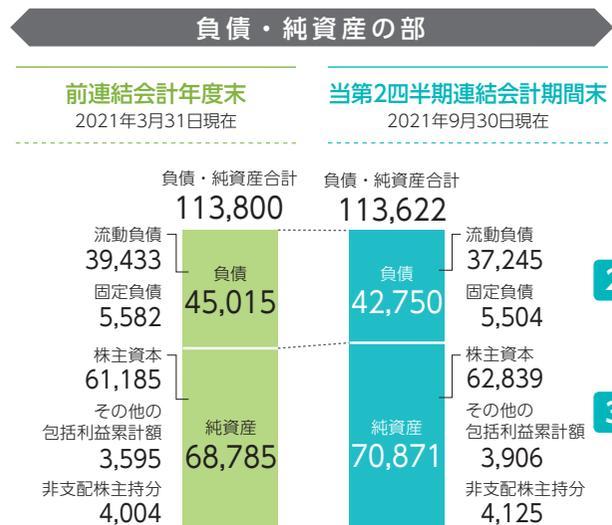
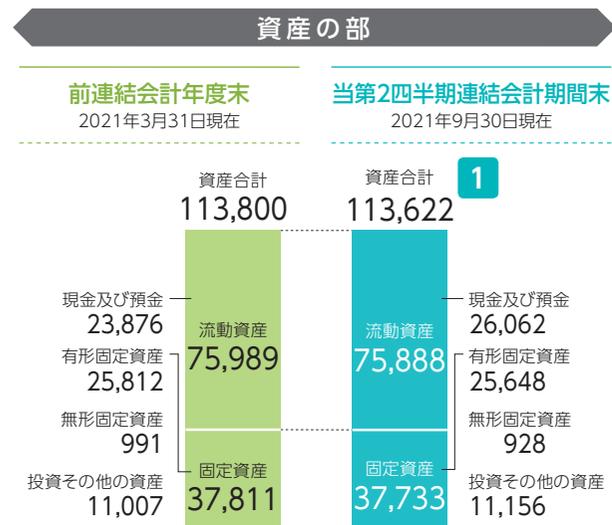
その結果を踏まえ、当社は、2021年8月24日開催の取締役会において、新市場区分「プライム市場」を選択することを決議いたしました。

プライム市場に求められるガバナンスにも準備を進め、随時対応をして参ります。

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(百万円)



ポイント

1 資産

流動資産は、電子記録債権が44億75百万円、現金及び預金が21億85百万円増加したものの受取手形、売掛金及び契約資産が69億84百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億円減少しました。固定資産は、建物及び構築物が1億13百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ78百万円減少しました。

2 負債

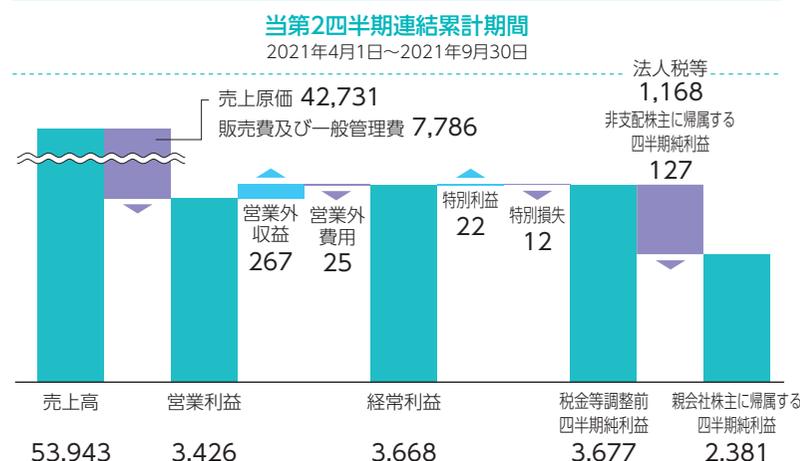
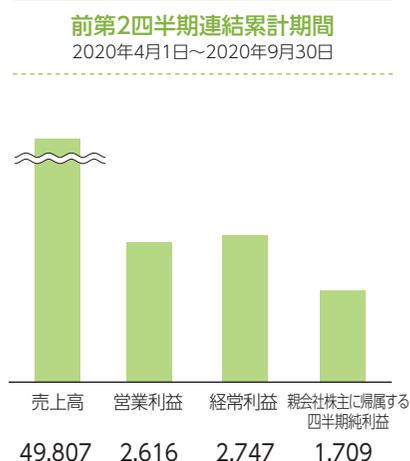
流動負債は支払手形及び買掛金が6億69百万円、未払法人税等が5億62百万円、電子記録債務が2億71百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ21億87百万円減少しました。固定負債は、長期借入金が1億31百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ78百万円減少しました。

3 純資産

純資産は、利益剰余金が15億98百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ20億86百万円増加しました。

● 連結損益計算書

(百万円)



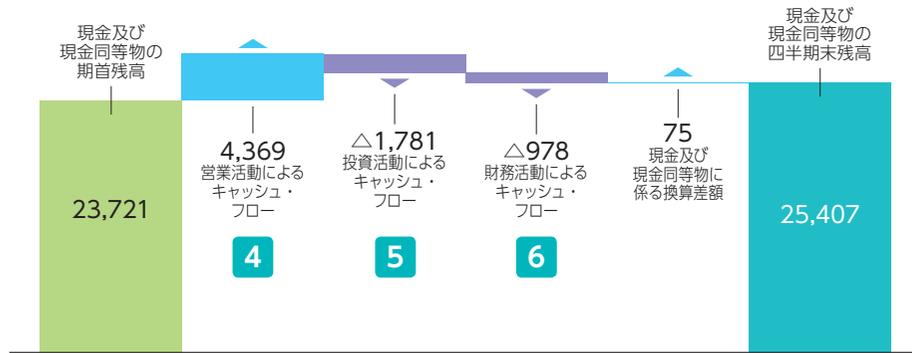
※2022年3月期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

個別財務ハイライト

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

当第2四半期連結累計期間
2021年4月1日～2021年9月30日



ポイント

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、法人税等の支払額が16億83百万円、仕入債務の減少額が10億4百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が36億77百万円、売上債権及び契約資産の減少額が25億97百万円、減価償却費が10億57百万円あったこと等により、43億69百万円となりました。

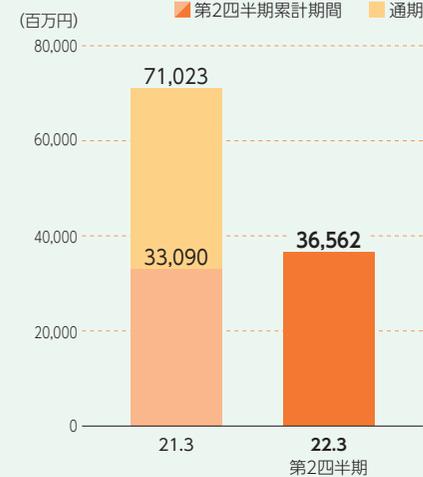
5 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が19億12百万円あったこと等により、17億81百万円となりました。

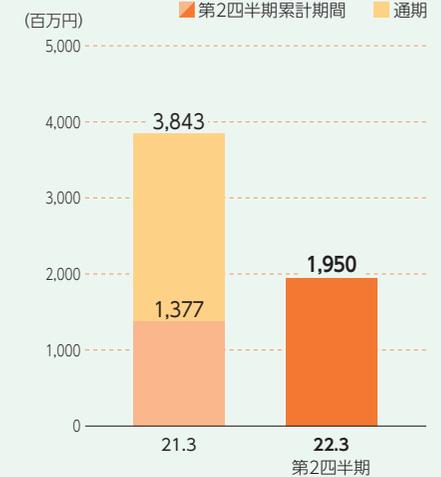
6 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払額が7億80百万円あったこと等により、9億78百万円となりました。

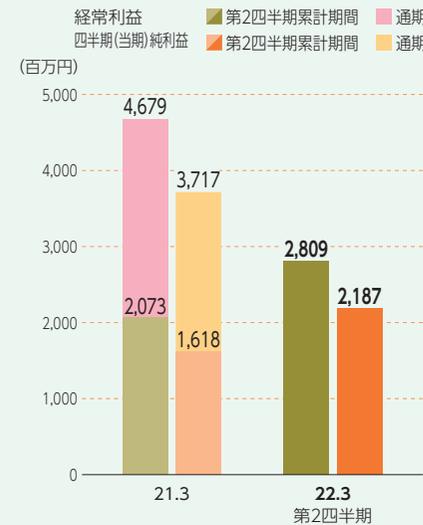
売上高



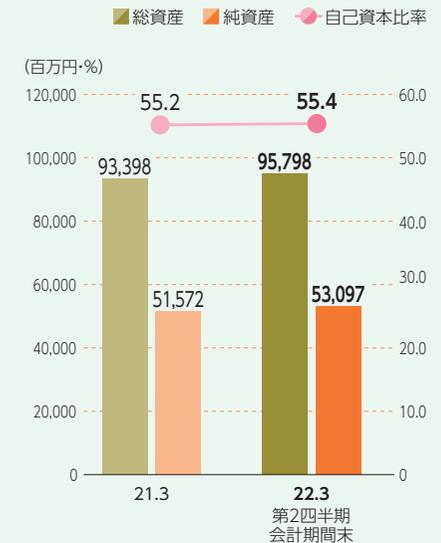
営業利益



経常利益・四半期(当期)純利益



総資産・純資産・自己資本比率



※2022年3月期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

会社概要

会社概要

(2021年9月30日現在)

設立 1925年(大正14年)9月25日
 資本金 46億3百万円
 従業員数 連結1,547名、単独764名
 証券コード 4956
 事業所 本店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目6番10号
 本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番1号
 北浜コニシビル
 関東支社 〒338-0832 さいたま市桜区西堀5丁目3番35号
 サテライトオフィス 東京
 支店 名古屋、福岡、横浜、札幌
 営業所 仙台、新潟、栃木、前橋、千葉、静岡、金沢、滋賀、姫路、高松、広島、沖縄
 製造拠点 栃木工場、滋賀工場
 研究所 浦和研究所、材料科学研究所、大阪研究所
 物流拠点 栃木物流センター、滋賀物流センター

役員

(2021年9月30日現在)

代表取締役会長	横田 隆	社外取締役(監査等委員)	川田 憲治
代表取締役社長	大山 啓一	社外取締役(監査等委員)	中田 基之
取締役専務執行役員	日下部 悟	社外取締役(監査等委員)	山田 美樹
取締役専務執行役員	有澤 彰三	常務執行役員	井上 孝一郎
取締役常務執行役員	松端 博文	上席執行役員	野田 昌治
取締役常務執行役員	巖 利彦	上席執行役員	高中 喜一郎
社外取締役	高瀬 桂子	執行役員	川竹 正敏
社外取締役	木村 亮	執行役員	岡本 伸一
取締役(監査等委員)	榎本 真也	執行役員	藤善 敏史
		執行役員	向井 義浩
		執行役員	佐野 直哉



株式の状況

株式の状況

(2021年9月30日現在)

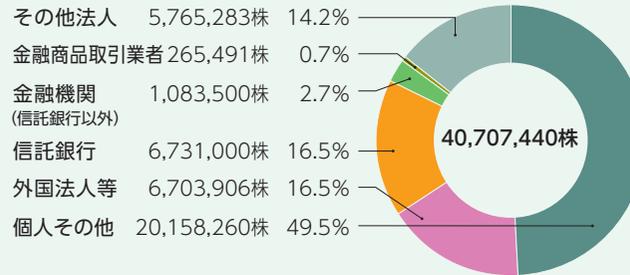
発行可能株式総数……………160,800,000株
 発行済株式の総数……………40,707,440株
 1単元の株式数……………100株
 株主数……………4,154名

○大株主 (上位10名)

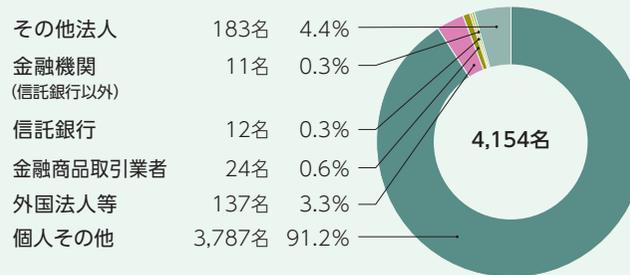
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,113,100	11.54
コニシ共栄会	2,274,000	6.38
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,302,100	3.65
AVI GLOBAL TRUST PLC	858,350	2.40
コニシ従業員持株会	748,156	2.09
株式会社カネカ	684,000	1.91
小西哲夫	645,500	1.81
AVI JAPAN OPPORTUNITY TRUST PLC	593,650	1.66
小西新太郎	578,168	1.62
三菱UFJ信託銀行株式会社	540,000	1.51

(注1) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社、株式会社日本カストディ銀行の所有株式はすべて信託業務に係る株式であります。
 (注2) 持株比率は、自己株式(5,067,361株)を控除して記載しております。また、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。

○所有者別株式数の分布状況

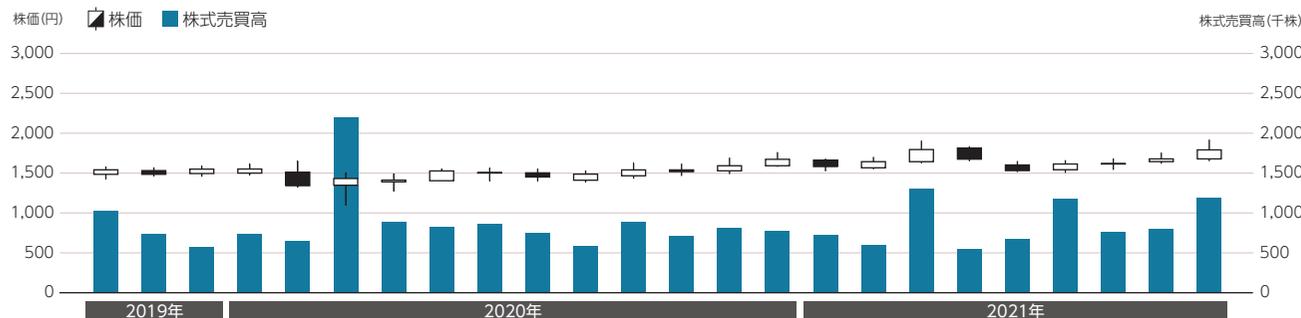


○所有者別株主数の分布状況



株価および株式売買高の推移

(2021年9月30日現在)



WEB SITE ホームページ紹介



当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について積極的に情報開示を行っております。より深くご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。



アドレス
<http://www.bond.co.jp/ir/index.html>

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



本 社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811
関東支社 / 〒338-0832 さいたま市桜区西堀5-3-35 TEL 048(637)9940



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSC®
の認証紙と水なし印刷方式を採用
しています。